

# 市立納内診療所に 医師が着任!

市立納内診療所 所長 **己斐 幹生** さん

市立納内診療所は医師の不在により平成29年から休診していましたが、新しい所長が決定し、8月下旬の診療再開に向けて準備を進めています。今月は、市立納内診療所の所長として着任した己斐幹生さんに、地域医療への思いなどについてお話を伺いました。

## ベテラン医師の経験と知識で診療

「早いもので医師になって40年弱になります。患者さんから『ありがとう』と言葉をかけてもらえると、今も昔も変わらず医師としてのやりがいを感じますね」と、少し照れた様子で話してくれた己斐さん。広島県出身の己斐さんは、これまで大学病院をはじめ北海道や関東の病院などで勤務。それぞれの場所で医師としての手腕を発揮し、内科部長や院長などを歴任してきたベテラン医師です。

己斐さんが新たな診療の場を選んだ納内地域は、高齢化率が50%を超えています。高齢の方は複数の疾患を抱えている場合が多いといわれ、それぞれの診療科に足を運ぶ負担は小さくありません。再開する市立納内診療所は、納内住民の生活を支えるため、内科と小児科のほか総合診療科を開設します。総合診療科は、罹患率の高い疾患や症状について部位に関わらず横断的・総合的に診察するのが特徴で、医師には幅広い知識が求められます。高度な専門性が必要と判断される場合は適切

な医療機関へつなぐ役割も担うため、地域にとつて心強い存在です。

また、さまざまな理由で通院が困難な方への医療を確保するため、自宅に医師が定期的に訪問して治療や薬の処方を行う訪問診療も積極的に行っています。

## みなさんから信頼される診療所に

「納内診療所は大きな病院のように最新の設備がそろってはいいませんが、患者さんは診察待ちなどでストレスを抱えることなく、医師とじっくり向き合い不安を解消しながら治療を行っている」ところが魅力と話す己斐さんは、自身が目指す診療所について「まず患者さんが来やすい存在であることが大切。体の異変や健康上の不安を感じる

場合など気軽に相談してもらい、診療を続ける中で地域のみなさんから信頼される診療所にしていきたい」と思いを語ってくれました。

## 地域のことは教えてください!

己斐さんが本市に移住してまだ1カ月ですが、深川の印象や暮らしについてもお聞きしました。「深川のことは本州に住んでいた頃からソバの産地として飲食店で目にしていました。深川は穏やかな雰囲気です。診療開始に向けて必要な機器や薬の選定などの準備に追われてばかりで、残念ながらもまだ深川のことがあまりわかっていません(笑)おいしい農産物など地域の情報があつたらぜひ教えてください!」

## 診療案内

- 診療科目 内科、小児科、総合診療科
- 診療日時 下表のとおり(祝日は休診)

| 受付時間               | 月  | 火    | 水  | 木    | 金  |
|--------------------|----|------|----|------|----|
| 午前<br>(8:45~12:00) | 診療 |      |    |      |    |
| 午後<br>(1:45~4:30)  | 診療 | 訪問診療 | 診療 | 訪問診療 | 診療 |

※火・木曜日の午後は、訪問診療のため医師が不在の場合があるので、事前に問い合わせしてください。

- 問合先 健康福祉課障がい福祉係  
(☎26-2152)

※診療開始は8月下旬を予定しています。開始日は、市ホームページや新聞折り込みチラシでお知らせします。